

刊夕日四廿月四

常磐毎日新聞

定価 一部全紙 五銭
 廣告料 五銭 十二字 一行 五銭
 日曜 祭日の翌日 休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞社

師道廢らず

在東京 木村 生

最近の新聞を讀んでゐて一つ、強く私の心を打つた記事があつた。時事新報の社説の『賞めたい話』と云ふ欄で、その全文は左の通りである。

兒童が命拾ひ

昨年五月、淺草の田原小學校で一兒童が盲腸を急發した時のことだ。その兒童の家庭は豊かでないため、見す／＼苦しむのをどうすることも出来ません。

すると受持の先生は敢然と泉橋病院に入院の手續をとり、しかも時間外を理由に拒むのを、病院に交渉してとう／＼手術を受けさせました。そして夜中附添つてその経過を看守つて下さつたのです。このことは後からその兒童の親達から聞いたのですが、先生のお蔭で手廻しが早かつたため僅か五日で退院し、今ではその兒童は元気で登校して居ります。私はこの場合先生こそは親以上の力になる方と深く思ひました。先生の御名前は『小幡』と申しました。(一父兄)

△私が特に此の一文に注意をひかれたのは理由がある。最近私は、地方から東京へ轉居して来た或る小學校の先生と知合ひになつた。

その先生の話すのに、彼の勤めてゐる學校に二人ばかり晝過ぎになると、生徒に勝手に自修させておいて自分は教室を三十分ばかり外す先生がある。見てゐると、その時間が自修には適しない科目の時でも、さうして自修を強ひるのである。

○朝の献立
 〇明日の献立
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【朝】ジャムトースト 牛乳 さつまいも マツシユ 果物
 【晝】うなぎ丼 清汁 わかめ
 【晚】かけそば 小井 こんぶ辛煮

なせだらうと暫く不審にしてゐたが、或る時、教室に來て見たら、その二人の教師はラヂオの音を小さくして、こつそりと何か一心に聴き入つてゐる。『それが相場の放送なんですよ。あの人達は相場をやつてゐるんです。私はこれに驚いたと同時に、折角あながれて來た都會と云ふものにすつかり幻滅してしま

ました』
 先生はさう私に話した。

常磐文藝

詩

何處からか

木津 茂太郎

どこからかぼくをよぶ
 こゝろがする
 ぼくはそのこゝろをたよりに
 あついなさげをかんじて
 ゆかうとおもふ
 すると
 ぼくのこゝろのなかを
 かげのやうにとほるひどが
 ある
 ぼくをつめたくみつめながら

花の里

飯村 閑舟

花見お酒に
 ほろ酔ふて
 足は南や
 西ひがし
 行つたり來たり
 花の
 町を流して
 ちらと見た
 花かんざしに
 花模様
 色は桃色
 晴れ姿
 花見お顔に
 日はうら
 化粧は流れる
 脂粉の香
 踊りに歌に興が乗る

耳鼻咽喉科専門
鈴木醫院
 醫學士 鈴木 正男
 平町田町 (電話五八番)
 藤田女學校前
 炊のお需めに應ず
 入院の便あり

外科 専門 X
 科 線 光
上田外科病院
 平町 南町
 電話一二九番



レストラン
平岡館
 電話 624

古レコードと蓄音器買入
 皆様の御家庭にて既に御不用となつたものでも何處の店よりも高價に買ひます
 平町三丁目
天地堂
 電話五八九番

花の春!
 春は麗か花盛り
 行きませう……
 花の野へ!! 山へ!!!
 カメラを持つて
 皆んなで楽しく朗かに!!!
 そして記念の撮影を!
 暗室不要 國産カメラの代表品
東郷製 メイコーカメラ
 MSカメラの新型も澤山入荷しました
 MSカメラ特約店 いづみや玩具店
 平 驛

お花見に
踊り付レコード
 花見おどり
 櫻行進曲
 うかれ櫻
 踊りの講習致
 平町五丁目
金光堂時計店
 電話一九五番

光の春を駆て!
 皆様旅のガイド
 不二の車は待つ—
タクシー不二
 未知ノドライブコース
 オ問合せ下サイ
 電話 32番

今が絶頂

泳ぐ灯の海に

花見風景點描

世は擧げて櫻に酔ふ

歡樂のルツボが沸騰

待ちくたびれた櫻が一時にばつと咲き揃つた昨日今日、松ヶ岡公園や新川端はどつと押しかけた物凄しい人出を見、晝間に

引續いて夜は金山櫻の樹間に點彩された雪洞、提灯の火の海の中に諸々の人達が泳ぐ頃、變つた風景

二、三——何處のトツツアンやら四五人第二公園の危ぶなツかしい場所にご座を敷いて持參の辨當箱を開げ

酒宴を張つてゐた迄

はよいが時のたつに連れてアルコールの廻り激しく直ぐ側で藝妓數名をばらして我が世の春を謳歌する一團がシャクにさはつたか負けずに狂聲を張り上げ、鳴つてゐたがそれだけで足りず通る

娘達に

戯れかゝつての亂痴氣振り——通りかゝつた何處かのお神さんが連れの娘に「彼の人達の子供が見たらねえ」としんみり、その傍の溝の中からはそれは又頭がニツ、三ツ見える、何れも適量の過ぎた血走つた

双眼をばらばらさせ

一升徳利に櫻の小枝がさしてあるかと思ひば酔漢同志の小競合が各所で線香花火の風景を見せて正に松ヶ岡の觀櫻は絶頂に達して居り、沸騰點に達した歡樂のルツボは廿六日の第四日曜頃まで續けられる様である

郡下農業倉庫

貸付利子下る

日歩二錢五厘に

石城郡下の町村農業倉庫經營者懇談會は廿二日午前十一時から平農業倉庫事務所で開催されたが入庫證券に關する貸付利子を協議の結果、果後米、藁、蒭、蒭、水産加工品、木炭等に對しては日歩二錢五厘以内と決定した

比佐・石川の兩氏

甚しい反目

遺憾に耐えぬと

専ら世評

比佐代議士と石川湯本町長とは嘗ては非常に親しかつたのみならず石川君が並大抵でない支持をした結果比佐代議士の今日ある基礎を造る上に多大の貢献をした

湯本問題

遂に法廷へ

湯本温泉坑口問題はその後一時兩者の歩みよりで無事解決を見る形勢を示したが既報の如く地主湯本町三郎比佐理平氏が石川湯本町長を相手取り平支部に損害賠償請求訴訟を提起、同時に平區裁判所に同土地假處分命令を申請、之に對して二十日立入並に掘鑿禁止の假處分をなすに至つたので狼狽した石川町長は昨廿三日平町千葉辯護士を代理人として公益事業でありかつ現在の如く工事進捗を見て居る折柄假處分をされては莫大な損害を蒙るため假處分取消の申立を提出、来る廿七日法廷で辯論が開かれる

麥の雪害に鑑み

種子芋購入斡旋

石城郡農會では過般の未曾有の雪害のため郡下の大小麥が殆んど絶望視されるに至つたのでその對策の一端として里芋種子、甘藷苗、燕麥、玉蜀黍、南瓜種子の購入を斡旋することとなり、里芋種子、甘藷苗等産地である千葉、茨城、埼玉の縣農會に依頼し品種別にそれ産地渡併に斡旋可能數量等の照會を發した

四期以上の

町村會議員

一名で現職以外の者は四十五名である

矢野校長出席 矢野平商業學校校長は明廿五日より川俣工業學校で開かれる實業學校長協議會へ出席のため出張した

統計事務功勞

鹿島村鈴木一男、赤井村鈴木文夫兩村産業統計調査員は本廿四日喜多方町で開かれた縣下統計大會で多年統計事務に精勵の功績顯著のため表彰された

平町人事

回婚

△鎌田町二八當時大阪市西淀川區佃町四五〇植松英勝氏(三五)大阪市天王寺區夕陽ヶ丘町二〇倉橋久榮さん(二九)

△鎌田町三八當時郡山市宇堂前町一四堀江久雄氏(二六)安積郡河田町大字河内字下坪九古川ハツミさん(二二)

- △三助 五十才迄 給五圓
- △料理下働 四十才迄 給料面談
- △附婦 五十才迄 給五圓
- △配達 廿才前後 給五圓
- △出前持 十五才迄 給料面談
- △雜夫 卅才迄 給十圓
- △雜役夫 四十才迄 尋卒 給面談

印刷の御用命は：
常替毎日印刷株式會社

- △出前持 廿才迄 給五圓
- △外仕着
- △石炭配達 卅才迄 給十圓
- △回職を求める方
- △自動車修繕見習 廿五才 高卒
- △自動車助手 廿六才 高卒
- △事務員 廿才 商卒

平町業紹介所報告
回人を求める方
△女中 卅才迄 尋卒 給二一五圓外チップ

父信吉(七十六才)儀四月二十三日午後三時心臟麻痺ニテ死去仕候
葬儀ハ來ル二十五日午後二時自宅自棺徳藏院ニ於テ佛式ニヨリ執行可仕候
右以紙上辱知諸彦ニ御通知申上候
追而御供物ノ儀ハ乍勝手御辭退申上候
四月二十四日
玉川村大原
男 箱崎瀧三郎

呑み相手はドロロン

浮かれ男の失敗

懐中無一文で春ぢやく

留置されても好い機嫌

咲いた櫻に浮かれ過ぎて留置場入りをした男——昨廿三日の宵六時半頃、平町田町料亭石川亭に登樓した二人連の客が飲酒の後一人は何時の間に消えて終ひ残された男はいざ勘定となつて一圓五十錢の飲酒代を請求されると「春ぢやく」と許りで他の文句に紛らし支拂はず懐中無一文と判明平署に留置されたが

此の男は同町白銀町居住土工紺野寅松(三)假名で満開の櫻に浮かれて松ヶ岡公園で酒を飲み始めちびり／＼飲む程に酔ふ程に全然未知の會社員風の年輪卅才位の男と意氣投合、二人で頻りに飲み交してゐるうちに新田町に行かうと話が纏まり前記の石川亭に登樓したもので煙の様に消えた相手の男は何うしたと留置場内でもいゝ氣嫌で酔つて居り餘り呑氣なので係員も苦笑させられてゐた

物景の見花もれこ

此の男は同町白銀町居住土工紺野寅松(三)假名で満開の櫻に浮かれて松ヶ岡公園で酒を飲み始めちびり／＼飲む程に酔ふ程に全然未知の會社員風の年輪卅才位の男と意氣投合、二人で頻りに飲み交してゐるうちに新田町に行かうと話が纏まり前記の石川亭に登樓したもので煙の様に消えた相手の男は何うしたと留置場内でもいゝ氣嫌で酔つて居り餘り呑氣なので係員も苦笑させられてゐた

レプラ群の雲集に迷惑

町役場大こぼし

中にはギャング氣取もある

陽春と共に絶好の旅行シーズンを得て居るのが最近平町へレプラ患者の流れて来る者が増加し何れも人事相談所及平町役場を訪れて旅費或は注射薬鹽酸コロナエン等を貰つていづこともなく立去つて行くがその都度立寄られた場所の消毒を要し警察署、役場も

大いに弱つて居り斯うした患者の横行されることは一般も

迷惑千萬 なことなので平町役場では社會事業として何とか対策はないものかと大滾しである、尙患者の中には猛犬數匹にリヤカーの如きもので来る者や殊猛な患者になると係員の待遇

悩ましの春宵に

出齒カメが走る

獨り悦に入り覗き込む

婦人連の悲鳴

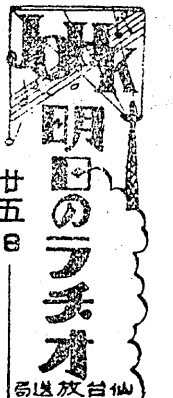
春宵一刻價千金？どころか之は惱ましき春宵出齒カメ男を走らす——二十一日夜九時半頃平町某浴場隣の女將某がフト臺所から首を出すと塀を乗り越えカウモリの様に女湯の窓にハリついでちいつと婦人入浴圖を一人悦に入り覗き込んでゐる若い男があるを發見……吃驚して番臺さんに斯く／＼と急報——驚いたのは入浴中の御婦人連何れも悲鳴をあげ乍らあたふたと上を下への大騒動——この騒ぎに風を喰つた件の痴漢悠々異風を満喫したまんま雲を霞と逃げ失せにけり……で春宵出齒カメ男を走らす一幕はチヨン

永年勤績戸籍吏

中島才判長より表彰

平戸籍吏會總會は廿二日より二日間午前十時より平第三小學校講堂で開かれ會頭中島十藏氏より永年勤績功勞者左記三十名を表彰、受賞者を代表して三十年勤績

の双葉郡津島村戸籍主任三瓶章氏が答辭を述べ、閉會後松ヶ岡公園で觀櫻會を催した、尙受賞者三十名中二十名は十年以上勤績者で八名は五年以上、成績優秀で



廿五日

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間 お話「三十三間堂櫻の射的」清水たかし
- 後六、二五 基礎英語講座 鹽谷榮
- 後七、三〇 講演「日本に來朝して」ジエームズ・バンザン
- 後七、四〇 講演「旅は流るものであると」

今晚も明日も南の風晴時々曇り

後九、三〇 時報 ニュース 明日の話題 氣通 報 番組豫告

合實況(神宮球場中継) 後二、〇〇 婦人の時間 農村婦人の娘樂慰安について 丸岡秀子

- 行を逐ふ話 田誠
- 後八、〇〇 ラヂオドラマ 「觀光日本」竹久千恵子
- 後八、三〇 朝鮮歌謡曲 鮮干一扇他(京城)
- 後八、五〇 浪花節「皆傳行安」 齋藤虎丸(岡山)
- 後九、五五 日本棋院春季東西大手合戦

- 前六、三〇 基礎佛語講座 丸山順太郎
- 前七、〇〇 朝の修養「觀無量壽經」藤秀翠
- 前九、〇〇 衛生メモ
- 「外出する時の母御へ」市河晴子
- 後〇、〇五 花めぐり第十一日「鹽竈神社花祭實況」宮城縣鹽竈町國幣神社
- 鹽竈神社境内より中継
- 後一、〇〇 六大學野球試

- 四倉金成仙治 大野荻貞 造 平窪小泉長佐 久之 濱高木傳吉 廣野磯邊熊太郎 龍田青木郊也 川内井出惣次郎 大野小林 雄定 新山渡部好綱 長塚横山久輔 請戸門馬重太郎 幾世橋泉田龜八 浪江石井清己 津島三瓶章

日本海々戰の回顧記念講演

在郷軍人分會平分會で

記念日に際し午後七時から平第三小學校で日本海々戰の回顧に關する記念講演會を開くこととなり目下本部に講師の派遣方を交渉中である

平商身体検査

平商業學校の春季身体検査は今廿五日午前九時から市原校醫により行はれた

山田青年總會

山田村男女青年團春季總會は昨廿四日午後一時同村小學校で催されたが篠山郡聯合青

磐女遠足會

磐城高等女學校は今廿四日絶好の天氣に恵まれて左記方面へ遠足を行つた (一年)大國魂神社(二年)

白米失敬

何食はぬ顔

上小川村大字上小川踏鐵業富谷源助(八)は去る二月中同村字祖之内地内で荷馬車に積んであつた同村農園井利夫の白米二斗麥一斗を窃取喰はぬ顔でゐたのを探知され平署に檢舉された

裁判所だより

△双葉郡富岡町大字佛濱字前川三農西名清重妻トヨ(七)が去る三月十五日午後四時半頃自宅風呂に焚火中強風にも拘らず注意を怠りたるため煙突より飛火で發火し隣家の阿久津次郎方住宅萱葺屋根に燃移り約二十五坪を焼燃し失火罪で略式罰金二十圓に處された

瓦解の謎

(森上映上)

悟道軒圓玉 (作)
丸尾至陽 (畫)



一〇四 雨中の亂闘

船頭の清六は庄七の手を押へて
清「ア親分待たつせえ、この戸棚を開けるはよしねえ、大事の預かりものが入つてゐるだ」
庄「ウム、それを俺が見てやる」

バラリと手を振り拂ひサラリと開けた戸棚、忍んでゐたお花は七首を持つてヒラリと飛び出した、庄七は女こゝにゐたかと組み付くを振りはらつたお花は、戸棚をうしろにして七首を逆手に取つた、これを見るより庄七の子分の金太に仙吉がバツと飛び上つた、續いて長井剛助が「女神妙に繩にかゝれ」と叫び足をかけて今上らうとした時に床下からヌツと半身を出した八百松は剛助の足を取つてさつと引く、あつといつた剛助はどうと打ち倒れた、同時におどり出した八百松、これも七首を取つてさア來いと身構へた、松戸の仁兵衛は子分二人と共に左右から十手を取つて打つてかゝる、お花は庄七の手下をかひくゞり七首をかつて、分を脅し表へ飛び出す、

いて八百松もおどり出した折しも雨はまたもはげしく降り來り、一旦静になつた雷は再び威力をまはしてはためき渡る、御用だア一神妙にしる、逃すな押へろ、と庄七、仁兵衛その他子分は二人に繩をかけやうと進みよる、



「つた」
彌「お、助けてやれッ」といつたがスラリと一刀を引き抜いた、續いて二人の武家も鞘を拂つたがこれは水戸浪人の岡田盟に本多孫三郎、矢切の百姓家に忍んでゐたお花を助けるために出て行つた同志の者、また松の辰がりのびた故途中の變事を案じて矢場まで來て岸にあつた舟に乗つて、これまで來るとこの亂闘、三人は抜きつれて斬つてかゝつた、お花はこの間にこゝろのがれむものと川岸まで來て舟に乗らうとした時に追ひ來つた庄七の子分

ふれぬが切り先にしごきを切つた、これでバラリと衣類が脱げたが全身櫻の刺青、キラ／＼ひらめきわたる稲妻にいらし出されたこの光景は物すごい、お花はバツと船へ飛び込むと舟は右にかたむき足が流れてドブーンと水音高く川に落ちた、それを見て彌太郎が彌「松、お花をすくへ、こゝろが引きうけたぞ」といつた、松は庄七の子分を突きつけて川まで來たお花の姿を見えぬ。ザ／＼と音を立て、降り注ぐ雨江戸川は増水して矢を射るやうに走る、八百松は船く飛び乗り棹を張り川下をさして下る彌太郎に岡田、本多の三人は松戸し仁兵衛を斬り、又子分をも斬り、庄七も怪俄をさせた長井剛助は本多孫三郎のために斬り立てられて四五ヶ所傷を負ひ、刀を引いて逃げむとするをうしろへまはつた船頭の清六が擡を取つてドシンと背を打つた、剛助はウムといつたがよろ／＼とよろめくを飛び込んだ本多孫三郎が横に拂つた一刀に脇腹深く斬られて血煙立て、打倒れた、これを見ると庄七その他の手先はそれ／＼は引きあげるといひすてあとを指して一散に駆行く、本多がそれを追はむとするを

折から向ふ岸より小舟に乗り、水を切つて岸へ漕ぎよせヒラリとおどり上つたは武家三人、きらめき渡る雷光にてお花と八百松を見て

の金太、捕繩をしいてさつと投げた、それが網のやうになつて飛んで來る、お花は身を縮めてのがれたがこの時駆け來つた長井剛助、これは歩兵指圖役で氣があらう。

彌「何れへ參る賊待て」と叫びさつとよろ／＼から斬り付けた、彌が延びてゐた爲に刀はお花の体には

青木はとゞめ彌「待て／＼追ふな／＼、逃がしてやれ」といひました

一冊の代金で御希望通りな

五冊の雑誌が自由に讀める

川崎 回文庫

美味！芳醇！

宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇〇番

上田病院

平町 南町
電話二二九番

お花見の……

折詰 辨當

是非御用命下さい



齒科口腔外科 レントゲン科

院長 東京齒科 原 精一

原齒科醫院

平町土橋通り
電話三一〇番

皆様の足？

尼子タクシーへも豆タクが入りました

御立關から立關へ 迅速簡便
是非御利用を

市内 三〇錢
市外 四割引

流線型セダン
大型貸切バス

宮行 直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします

平町二丁目

尼子自動車商會

電話六四〇番